

H30年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金  
(慢性の痛み政策研究事業)  
慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究  
分担研究報告書

学祭的痛みセンターと東海地区地域診療連携についての研究

研究分担者 杉浦 健之 名古屋市立大学大学院医学研究科 教授

**研究要旨**

多職種診療を活用した慢性痛診療を円滑に行うシステム構築への問題点を探ることを目的とし、2018年名古屋市立大学病院いたみセンターを受診した慢性疼痛患者数と治療方法、その特徴から地域診療連携の有効活用に向けた対策を検討した。心理療法導入を特徴とし、昨年と比べ倍以上の慢性痛患者を受け入れることができていた。しかし、愛知県痛み診療ネットワーク紹介は慢性痛初診患者の1割にとどまり、院内やネットワーク以外からも大変要望が多いことが分かった。センターで診療すべき患者の選定も必要と考えられる。

**A. 研究目的**

慢性痛の治療では、集学的・学際的な治療が有効であることが明らかである。しかしながら、多職種でのチーム医療が慢性痛においてはまだ十分普及していない。平成29年4月から、名古屋市立大学病院に、学際的な痛みセンターを開設したので、センターを受診した慢性疼痛患者の診療内容の特徴から、地域診療連携の有効活用に向けた対策を検討する。

**B. 研究方法**

2018年名古屋市立大学病院いたみセンターを受診した慢性疼痛患者数と治療方法の推移を2017年(9か月分)と比較する。その特徴から、地域診療連携の有効活用に向けた対策を検討する。

(倫理面への配慮)

臨床研究において介入はなく、また個人情報には取り扱う研究ではない。

**C. 研究結果**

1. 名古屋市立大学病院痛みセンター

2018年外来診療(比較2017年4~12月)

- ・患者数：3685名
- 初診患者数：急性痛92名(80名)
- 慢性痛83名(28名)
- ・神経ブロック 総数905回
- 超音波ガイド528回
- 硬膜外ブロック108回
- 高周波熱凝固29回
- ・臨床心理
- 心理面接(評価・心理療法導入を含む)
- 計229件
- 個人心理療法(継続中の患者数)20名
- グループ療法(参加患者累積数)8名
- ・リハビリ 104単位
- ・カンファレンス：
- 対象：急性痛、慢性痛、がん性痛(緩和)
- 時間：毎週木曜日8時から9時
- 参加者：麻酔科医、精神科医、整形外科医、緩和ケア医、東部医療センター疼痛緩和科医、公認心理師、理学療法士、看護師、薬剤師、医学部・薬学部学生
- 検討患者数：急性痛125件、慢性痛101件(ともにのべ人数)

2. 愛知県痛み診療ネットワーク病院連携

2018年は15件の連携診療を行った。うち9件は連携施設からの紹介受診であり、6件が逆紹介で連携施設への患者紹介であった。

#### D. 考察

慢性痛初診枠を途中で増やしたこともあり、昨年(28名/9ヶ月=3.1名/月)の倍以上の慢性痛患者を受け入れることができていた(83名/12ヶ月=7.0名/月)。慢性痛患者には学祭的治療を望む患者は多く、現在でも予約が半年先まで続いている状況である。当院では積極的に心理療法を用いることが多い。

地域連携では、愛知県痛み診療ネットワーク紹介は慢性痛初診患者の1割にとどまり、院内やネットワーク協力施設以外からも大変要望が多いことが分かった。

慢性痛患者を生物社会心理モデルとして対応する場合、臨床心理士や理学療法士、作業療法士、専門看護師を含め、医療スタッフの人員とポストが足りない現状がある。現状の医療スタッフが急遽増員できることは容易ではなく、現在の医療資源を有効に活用するように対策を考えている。

#### E. 結論

いたみセンター活動2年目で、慢性痛診療は順調に行うことができています。しかしながら、東海地区の慢性痛患者の診療要望は多く、診療体制がまだ不十分であることが分かった。名古屋市立大学病院は連携拠点病院として、連携施設からの要望にも答える必要があるが、現在の医療資源を有効活用するためには、いたみセンターで診療すべき患者の選定も必要と考えられる。

#### F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) 酒井美枝, 近藤真前, 杉浦健之. アクセプトランス&コミットメント・セラピーに基づく心理的介入を実施した大後頭三叉神経痛症候群の一症例. 慢性疼痛. 2018;37:132-138.

##### 2. 学会発表

- 1) 酒井美枝, 浅井明倫, 太田晴子, 近藤真前, 杉浦健之, 祖父江和哉. アクセプトランス&コミットメント・セラピーが有効であった慢性疼痛をかかえ休職している中年女性の1症例. 東海・北陸ペインクリニック学会第29回東海地方会. 2018.4.28, 愛知
- 2) 浅井明倫, 永井梓, 加藤利奈, 草間宣好, 徐民恵, 杉浦健之, 大堀久, 薊隆文, 祖父江和哉. 帝王切開術後の硬膜穿刺後頭痛に対する五苓散の有用性の検討. 東海・北陸ペインクリニック学会第29回東海地方会. 2018.4.28, 愛知
- 3) 太田晴子, 浅井明倫, 酒井美枝, 藤掛数馬, 加藤利奈, 加古英介, 徐民恵, 草間宣好, 杉浦健之, 祖父江和哉. 精神疾患を併存した慢性痛患者の診療における多職種診療の取り組みと経過分析. 日本ペインクリニック学会第52回大会. 2018.7.19-21, 東京
- 4) 酒井美枝, 浅井明倫, 太田晴子, 近藤真前, 杉浦健之, 水谷潤, 明智龍男. 高齢の慢性疼痛患者に対するアクセプトランス&コミットメント・セラピー(ACT): 事例検討. 日本行動分析学会第36回年次大会. 2018.8.25, 京都
- 5) 酒井美枝, 近藤真前, 太田晴子, 浅井明倫, 徐民恵, 加藤利奈, 杉浦健之, 吉戸菜摘, 水谷潤, 小川成, 明智龍男,

祖父江和哉．慢性疼痛に対する集団アクセプタンス&コミットメント・セラピーの予備的検討．日本認知・行動療法学会第44回大会．2018.10.28，東京

- 6) 杉浦健之，近藤真前，小川成，水谷潤，祖父江和哉，明智龍男．慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成と診療体制構築．第11回日本運動器疼痛学会シンポジウム2「慢性疼痛の診療に関わる医療者育成の展望」．2018.12.1，滋賀
- 7) 酒井美枝，近藤真前，杉浦健之，武藤崇．慢性疼痛に対する集団アクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）の予備的検討．第48回日本慢性疼痛学会．2019.2.15，岐阜
- 8) 太田晴子，杉浦健之，酒井美枝，近藤真前．一次性慢性痛における心理社会的要因の検討～社会資源の活用に向けて．第48回日本慢性疼痛学会．2019.2.15，岐阜

#### H．知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

- 1.特許取得  
なし
- 2.実用新案登録  
なし
- 3.その他  
なし